

第2部 鉄道交通

第1章 鉄道交通事故の動向

1 近年の運転事故の状況

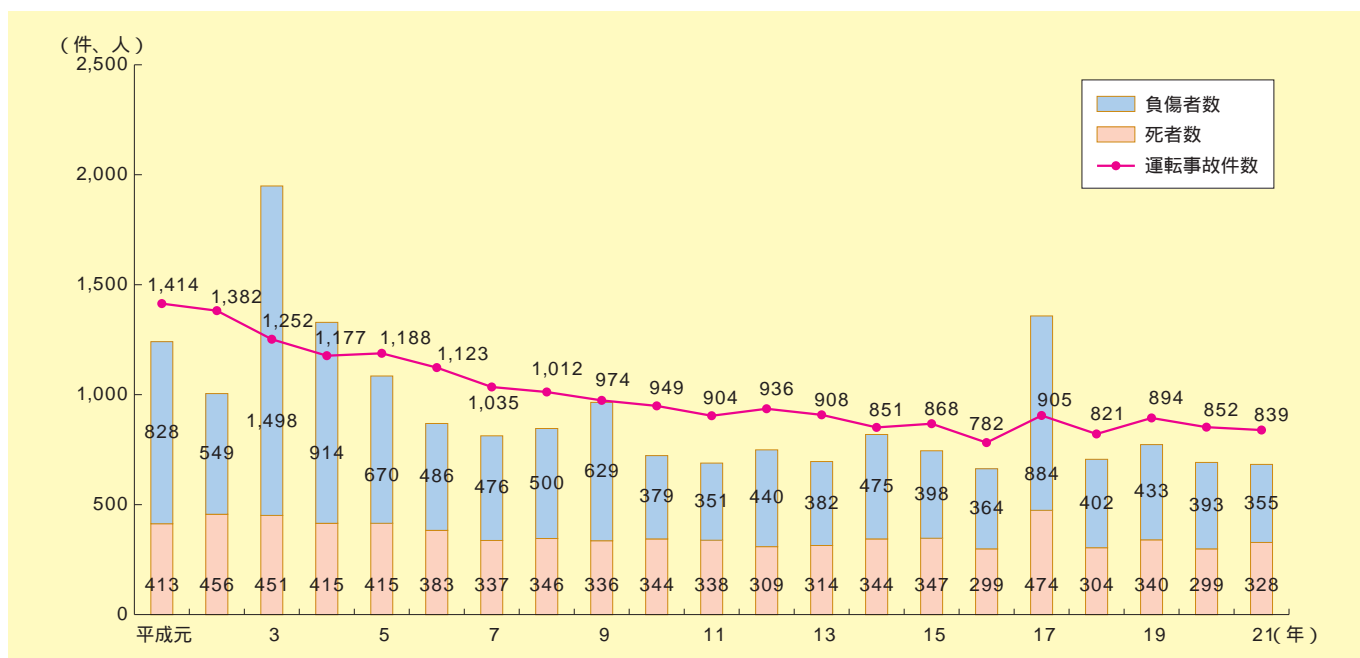
鉄道交通における運転事故は、長期的には減少傾向にあり、平成21年の運転事故件数は839件で前年比1.5%減となった。

運転事故による死傷者数は683人（うち死亡者328人）で前年比1.3%減となった。

踏切事故は322件で前年比3.3%減であり、運転事故の約38.3%を占めた。また、死傷者数は206人で前年比7.2%減となった。

平成21年中の重大事故（死傷者が10名以上又は脱線両数が10両以上生じた事故）は、12月28日、JR北海道の根室線富良野駅において発生した、列車の除雪車との衝突による人身障害事故の1件である。

運転事故の件数と死傷者数の推移



注 1 国土交通省資料による。
2 死者数は24時間死者。

運転事故

列車衝突事故，列車脱線事故，列車火災事故，踏切障害事故，道路障害事故，鉄道人身障害事故及び鉄道物損事故をいう。なお，軌道の運転事故は，鉄道運転事故と同様に定義する。